

第6回理事会議事録

日 時 平成28年3月12日(土) 14:00~15:00

場 所 本会事務所 会議室

理事総数及び定足数 総数 18名、 定足数 10名

出席理事数 14名

(出席) 理事 巴昭彦、高橋宏幸、伊東賢二、藤田純二、大野貴史、三好裕司、足達麻衣、池三二雄、小松剛、柳本禎久、楠永倫也、岡林史朗、保川幸稔、近藤匡史。

監事 清水雅明、楠瀬正哲

(欠席) 理事 中村伸治、山中こず恵、板山和幸、菊地真司

議題 決議事項

第1号議案『入退会の承認』

第2号議案『平成28年度收支予算書・事業計画書の承認』

第3号議案『その他の議案』

1. 報告事項

決議事項に先立ち会長および各担当理事より以下の報告が行われた

〈会長報告〉

(1) 平成27年度高知県学術大会について

平成28年2月14日(日)に開催した学術大会は龍馬マラソンと重なったが無事終了した。

来年度に向けた取り組み・提案等を3月の常務理事会で検討したので、「その他の議案」にて協議をお願いする。

各担当理事より以下の報告がされた。

〈学術〉

(1) 第3回講習会を平成28年1月30日(土)15:00から高知市総合あんしんセンター中会議室にて開催した。

講師は富士フィルム、PSP。演題内容は日々「フラットパネル」、「クラウド」について。

受講者数は19名であった。

(2) 平成28年2月14日(日)9:00から高知医療センターくろしおホールにて開催した。

特別講演2、演題8、参加者数43名(内非会員3名)であった。

〈地区・企画〉

(1) 中央東地区主催の講習会について

平成28年3月26日(土)14時より、高知市総合あんしんセンター中会議室にて講習会を開催する。

講師はシーメンスと東芝に依頼している。詳細は技師会便り3月号に掲載。

〈編集・広報〉

(1) 特になし

〈事務局〉

(1) 2015年度会費収入報告(2016年2月末)

・2015年度会費 199名 1,194,000円(未納 20名 120,000円)

・2014年度会費 11名 66,000円(未納 1名 6,000円)

・2015年度賛助会費 11社 310,000円

・放射線高知廣告料	7社	160,000円
・漏洩線量測定料	2件	40,000円
(2) 2015年度会員報告(2016年2月末)		
・会員総数	219名	(名誉会員・新入会員・転入含む)
会費免除会員	2名	(名誉会員)
新入会	7名	(尾立隆史、林憲司、谷脇貴博、白石卓也、上村美沙希、 土居伸匡、戸梶瑞希)
転入	2名	(田村沙織、片岡真紀子)
退会	7名	(死亡1名、転出1名、希望退会2名、未納退会3名)

2. 決議事項

第1号議案『入退会の承認』について

以下2名の入退会について審議の結果、承認された。

- ・新入会 戸梶 瑞希(トカジ ミズキ) 近森病院:中央西〈G〉
片岡真紀子(カタカマ カヨ) グリーンハウス:中央西〈G〉(転入:和歌山県)
- ・退会 森岡 勤(モリカワ ツム)

第2号議案『平成28年度収支予算書・事業計画書の承認』について

前回の理事会で継続審議となっていた平成28年度収支予算書について会長より説明がなされ、平成28年度事業計画書と合わせて審議された。

- 収支報告書については原案のまま変更なし。事業計画書については総括と公益事業1の前文について修正を加えた。

協議の結果、平成28年度収支予算書と平成28年度事業計画書は承認された。

第3号議案『その他の議案』について

(1) 平成28年度高知県学術大会に向けての提案と総括

○総括

当日の役割分担等が明確ではなかったため、判断に困る場面もあったが、参加理事間でコミュニケーションを取り対応したため、大きな問題もなく概ね順調に進行ができた。

開催日・会場を含め準備、運用を含めて問題点を改善し次年度開催に臨む。

○演題募集

演題募集の方法は電子メールでの応募のみとして、原稿はWord文書に統一する。

来年度は10月1日から演題募集し、締切りを11月30日とする。

○来年度の開催場所と日程

高知龍馬マラソンを避け、平成29年2月12日(日)高知市総合あんしんセンター大会議室での開催予定とした。

協議の結果、平成28年度学術大会の提案事項は承認された。

(2) 総会資料の送付方法について

作業効率・費用の面から、郵送ではなくメールで代用可能か公益社団法人の規約等について松岡税理士事務所に確認し、下記回答を得た。

- 公益社団法人の規約に特に触れていないので、総会資料をメールで送付することは可。

- 一般的の株式会社等でも最近はメール等を利用した総会資料の配信を行っている。

- 但し、電子メールを受け取れない会員にはこれまで通り郵送する必要がある。

- 今後の対応として

- ①技師会だより 4月号で総会資料の送付方法についてアナウンスを行う。
- ②メールで送付された総会資料は、各自印刷して総会当日持参してもらう。
- ③総会資料は郵送分(100)と当日配付分(40)を印刷する。(印刷部数の節約)
- ④当日会場では、総会資料を正面に投影し説明を行う。

協議の結果、総会資料の送付方法について承認された。

(3) 来年度の学術特別講演の提案

岡林理事から講演内容および講師招聘について以下の提案があった。

講演内容は医用画像情報関連（仮題）についてとし、講師として日本医用画像情報専門技師会会長の守本京平氏（県立広島病院）を招聘する。

協議の結果、学術大会の特別講演について承認された。

(4) 放射線高知の発行について

楠瀬監事より長年発行を続けてきた『放射線高知』であるが、本会ホームページで広報している内容とかなり重複があり、また発行のための費用は全体予算に占める割合が高く予算全体を圧迫しており発行そのものを見直してはどうかとの提案があった。

これについて巴会長から、放射線高知独自の記事としては、「巻頭言」と「学術大会の記録」「会員住所録」「広告」であり、工夫をすれば別な方法で広報できると思われるとの発言があった。

協議の結果、放射線高知の発行方法および継続の可否について次年度以降の検討課題とすることになった。

以上をもってすべてすべての議案の審議が終了した。15時00分議長は閉会を宣し、解散した。

この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事及び監事は記名押印する。

2016年3月16日

会長 巴昭彦 印

副会長 高橋宏幸 印

副会長 伊東賢二 印

監事 清水雅明 印

監事 楠瀬正哲 印